



とよはしの路面電車



豊橋市長 佐原 光一



豊橋の市電は東海道に残る唯一の市電

豊橋市は東海道のと真ん中



豊橋の路面電車の概要(平成21年9月現在)



- ❖市営電車ではないが、市民は“親しみ”と“愛情”を込めて『市電』と呼ぶ
- ❖東海道に残る唯一の路面電車 国道1号線のだ真ん中を走る
- ❖営業総キロ数 5.4km(全国で2番目に短い路線)
駅前～井原～赤岩口 4.8km 井原～運動公園前 0.6km
- ❖停留場数 14カ所
- ❖車両数 17両(うち1両はイベント用)
- ❖利用者数 2,935千人(平成20年度) 8,041人(1日当たり)



3

豊橋市電は国道1号線のだ真ん中を疾走する



- ❖架線は景観に配慮したセンターポール
- ❖国道1号線は片側2車線+右折帯
- ❖軌道敷内はもちろん走行禁止



私たち
『官僚たちの夏』に出演しました



- ❖国道1号線でも平気で曲がっちゃう
- ❖市電優先信号は難しいかな？

4

多種多様な車両群



日本各地から集まった車両たち



3100形(昭和18年製造)



3200形(昭和36年製造)



3500形(昭和39年製造)



800形(平成12年製造)

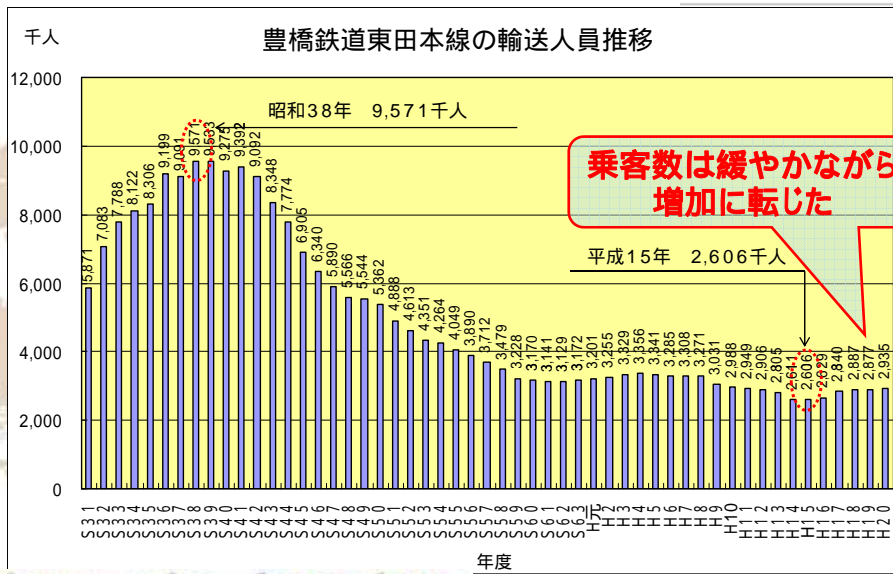


700形(平成9年製造)



5

豊橋市電の輸送人員の変遷(平成20年9月現在)

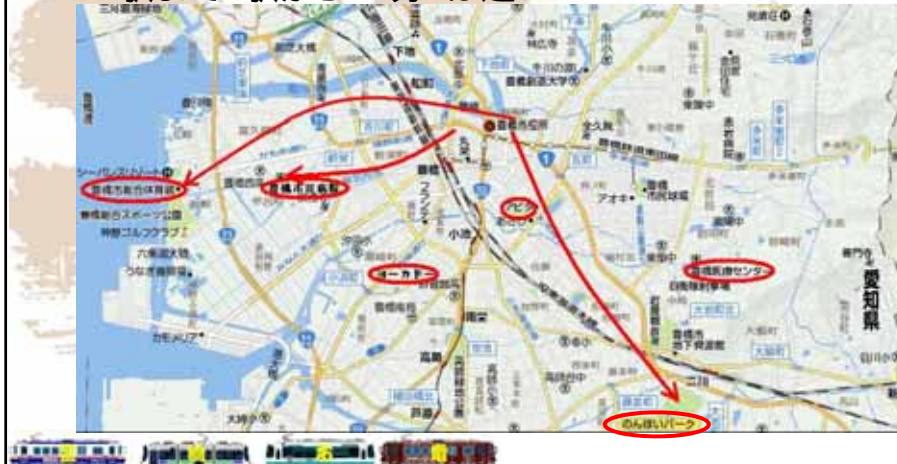


6

乗客を大きく減らした要員



- ❖ もちろん第一義的には自家用車の普及
- ❖ 軌道沿線から消えた集客施設
- ❖ “駅まで・駅から 5分”は遠い？



7

利用者の減少を食い止める多彩な企画



- ❖ より快適な車両の導入
 - 資金的に新製車両の購入は困難
 - 市電廃止に伴い発生する良好な車両を積極的に購入(2車形のローレル賞車両を運行)
- ❖ 企画電車の成功
 - 夏の『ビール電車』、冬の『おでんしゃ』、『ボージョレ電車』と多種多彩
- ❖ さらなる取り組み
 - バリアフリーな全面低床式LRVの導入



8

暑～い夏にはやっぱり・・・『ビール電車』



今年も暑いぞ！
暑い夏には もちろんビール
暑気払いにみんなで出発！



9

今や、豊橋の冬の風物詩・・・『おでんしゃ』



暖簾をくぐれば、そこは・・・



美味しい、美味しい
楽しい、楽しい
おでん屋さん



10

開業時以来の新製車両LRV『ほつらム』経緯



1925年開業時に新製した1形(1926年に追加製造)以来82年ぶりの新製車両



11

豊橋路面電車活性化事業計画 平成17年11月策定



[目標]

路面電車年間輸送人員 262万人(H16) 300万人(H22)

[事業概要]

安全島の無い停留場の改良 [事業費 7千万円]

平成18年度に「競輪場前停留場」を改良

停留場のバリアフリー化 [事業費 5千万円]

平成19年度に4電停にて実施

対象停留場: 札木・市役所前・豊橋公園前・運動公園前

低床車両(LRV)の導入 [事業費 2億5千万円]

平成20年度中に1両を導入

ICカードシステムの導入 [事業費 2億円]

平成22年度末にICカードシステムを導入

パーク&ライド駐車場の整備 [事業費 5百万円]

平成18年度に赤岩口電停にパーク&ライド駐車場を整備



12

市の交通計画への位置付け

豊橋市都市交通マスタープラン

- ❖平成18年3月策定
- ❖平成27年を目標年次とした総合的な交通の基本計画
- ❖誰もが移動しやすい交通環境の構築、中心市街地の活性化のための交通改善としてLRV導入を位置付け

豊橋市地域公共交通活性化方策

- ❖平成18年9月策定
- ❖都市計画マスタープランの公共交通の実行計画として策定
- ❖計画期間は平成18年度から平成22年度までの5か年間
- ❖公共交通の利便性向上の取り組みとしてLRV導入を位置付け

↓

LRV導入計画の具体化

13

市民による支援

新しい公共交通とまちづくりの会の発足

- ❖平成18年6月発足
- ❖市民協働事業とするための豊橋商工会議所を中心とするLRV導入に向けた民間の応援団
- ❖LRV導入のため募金活動を展開

豊橋市地域公共交通活性化基金の設立

- ❖平成19年4月設置
- ❖市民との協働により地域公共交通の維持・確保及び活性化を図ることを目的とする
- ❖市民からの寄付を継続的に受け入れ、交通施策の補助財源となる

↓

LRV導入への市民支援

14

寄付金の流れ



15

LRV導入に対する補助金等の内訳

LRV購入価格 245,000千円(税抜き)

補助金 177,295千円

国 61,250千円

LRTシステム整備費補助金 61,250千円(1/4)

市 116,045千円

LRTシステム整備費補助金市協調補助分 61,250千円(1/4)

愛知県低床式路面電車整備事業費補助金 19,600千円(8/100)

寄付金(地域公共交通活性化基金) 35,195千円

事業者負担 67,705千円

16

愛称の募集



LRV(全面低床電車)の愛称募集

目的:市民を始め広くLRVを認知してもらい親んでもらうため
募集期間:平成20年7月28日～8月31日



全国から836通の応募

LRVの愛称 「ほつラム」に決定

- ・東三河一円をさす「穂の国」の「ほ」
- ・乗った人が「ほっ」と心が和む、すべての人にやさしい車両
- ・路面電車を表す「ラム」



17

いよいよ『ほつラム』発車式を迎えた



『ほつラム』発車式

日時:平成20年12月19日
午前10時20分
場所:駅前停留場



18

『ほつラム』の概要



車種 3車体連接(2台車)電動客車
大きさ 長さ16.2m 幅2.4m 高さ3.85m 重さ 約23.0t
乗降口高さ 350mm ゲージ 1067mm
定員 74名(座席29席)
デザインコンセプト
シンプル&ハイセンス
路面電車中心となるようなライフスタイルを目指す車両デザイン
飽きの来ないスタイル
ラウンドフォルム、カラーリングは白をベースに緑と青のグラデーションライン
モダンリビング
落ち着きある空間、シックでモダン
形式 T1000形
価格 2億4,500万円
愛称 ほつラム
受賞 2009年 ローレル賞



19

LRV『ほつラム』のホット・ニュース



❖ 鉄道友の会『2009 ローレル賞』を受賞

- 狭軌軌道用LRV(新型路面電車)として純国産初の100%全面低床化を実現
- 平成21年10月25日午前11時に鉄道友の会 須田会長のご出席をいただき駅前停留場で贈呈式が執り行われた



20

市電にも～っとず～っと乗っていただくために



❖路線の魅力アップ(乗って行ってみたい街)

- 沿線の人口を増やす
 - …再開発による街中居住の推進
- 魅力ある街並みづくり
 - …商店街の再生(歩いて楽しい、気持ちの良い街づくり)
- 乗換え等利便性を向上させる
 - …パーク&ライド、バス乗り継ぎ割り引き etc.

❖ハードの魅力アップ(乗ってみたい電車)

- 新造車両の導入、旧型車両の活用、企画列車の投入
- 乗りやすい停留場、環境にやさしい車両、軌道(軌道敷緑化)

❖乗車の魅力アップ(何となく乗ってしまう電車)

- 市電利用の習慣化(高校生の定期の低廉化)
- 乗りやすい料金、ダイヤ設定



21

最後に…



豊橋市民みんなが力を合わせ
5回市電に乗れば
LRVを1編成購入出来ます!

ご清聴ありがとうございました

豊橋市 豊橋市 豊橋市 豊橋市 豊橋市



FIN



とよはし市電を愛する会



23

愛される路面電車（とよはし市電を愛する会）



- ・平成2年に、もっと路面電車をもりたてていこうと市民や団体など約150人が集まって、「とよはし市電を愛する会」を結成。

| | |
|------|--|
| 設立 | 1990年（平成2年）11月22日 |
| 会員 | 現在250名（会社社長・会社員・公務員・商店主・主婦など市民各層） |
| 会の目的 | 「路面電車を活かしたまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・公共の足としての利用促進 ・観光資源としての活用 ・中心市街地の活性化 ・次世代への啓蒙 |
| 会の活動 | 4月10日（市電の日・豊橋市） 6月10日（路電の日・全国）を中心にイベントの実施 |

24



ポストカード
「路面電車の走る街・豊橋」



平成19年度